

令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	演芸
----	------	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきしゃだんほうじん にほんきじゅつきょうかい 公益社団法人 日本奇術協会	団体ウェブサイトURL https://www.jpma.net/
代表者職・氏名	会長 正木慎一	
制作団体所在地	〒 169-0073 東京都新宿区百人町1-20-3-402	最寄り駅(バス停) JR総武線 大久保駅
電話番号	03-3361-5221	
ふりがな 公演団体名	こうえき しゃだんほうじん にほんきじゅつきょうかい 公益社団法人 日本奇術協会	団体ウェブサイトURL https://www.jpma.net/
代表者職・氏名	会長 正木慎一	
公演団体所在地	〒 169-0073 東京都新宿区百人町1-20-3-402	最寄り駅(バス停) JR総武線 大久保駅
制作団体 設立年月	1936年 12月	
制作団体組織	役職員 ◎会長:正木慎一 ◎副会長:長谷和幸 ◎常任理事:加藤明彦 ◎理事:林 太・後藤尚美・渡邊奈月 北野隆義・小林 昭・中 崇 長谷川一也・高岡若葉 ◎常任監事:松下敏雄 ◎監事:佐藤元一・近藤哲司	団体構成員及び加入条件等 「正会員」この法人の目的に賛同し理事2名以上の推薦に基づき入会した職業奇術師。 「準会員」この法人の目的に賛同し理事2名以上の推薦に基づき入会した職業奇術師。 「賛助会員」この法人の事業を援助する個人または法人。 「名誉会員」この法人に特に功労のあった者、学識経験者で総会の決議をもって推薦された者。
事務体制 (専任担当の有無)	他の事業と兼任の事務担当者を置く	本事業担当者名 小林 昭
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名 伊藤利一

<p>制作団体沿革</p>	<p>◎昭和11年12月 「第1回集会」(目黒雅叙園) ◎平成2年 12月3日を「奇術の日」と制定する。 ◎平成5年3月 公益法人許可を受け「社団法人 日本奇術協会」となる。 ◎平成9年5月 「和妻」は[記録作成の措置を講ずべき無形文化財]として採択される。 ◎平成20年度より12月1日～3日の三日間「奇術の日普及活動」を実施。 ◎平成24年内閣府より公益社団法人の認定を受ける。</p>			
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>◎平成21年度 「本物の舞台芸術体験事業」Bブロック ◎平成22年度 「子どものための優れた舞台芸術体験事業」Dブロック ◎平成23年度 「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」Iブロック ◎平成24年度 「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」Hブロック ◎平成25年度 「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」Eブロックに 於いて「ベストマジックフェスティバル」公演を行う。 ◎平成26・29年度 「文化芸術による子どもの体験事業」Jブロックに於いて 「Magic of MAGIC-Compilation」 平成30年度 「文化芸術による子どもの育成事業」Iブロックに於いて 「Magic of MAGIC-Compilation」 令和元年 「文化芸術による子どもの育成総合事業」Gブロックに於いて 夢と希望の創造空間「Magic of MAGIC-Compilation」の公演を行う。 令和3年度 「文化芸術による子供育成総合事業」 Aブロックに於いて 夢と希望の創造空間「Magic of MAGIC-Compilation」の公演を行う。</p>			
<p>特別支援学校等 における公演実績</p>	<p>◎平成22年度 横須賀市立養護学校・静岡県立沼津聴覚支援学校 ◎平成24年度 高知県立山田養護学校・愛媛県立みなら特別支援学校 ◎平成25年度 福井県立嶺北養護学校・京都府立八幡支援学校・京都市立鳴滝総合支援学校 ◎平成26年度 宮崎県立延岡しろやま支援学校 ◎平成29年度 栃木県立足利中央特別支援学校 ◎平成30年度 長崎県立桜が丘特別支援学校 ◎令和3年度 北海道余市養護学校しりべし学園分校 にて、上演の実績があります。 ※学校公演と同じく出演者個人で障害保険福祉センター等でも演じている奇術師もあり、 公演実施は可能です。</p>			
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>		
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://www.youtube.com/watch?v=tX6vXle_iBuQ</p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>		
		<p>PW:</p>		

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 公益社団法人 日本奇術協会】

対象	小学生(低学年)	○	
	小学生(中学年)	○	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	○	
企画名	夢と希望の創造空間 Magic of MAGIC -Compilatuo-		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	演出:加藤明彦 脚本:加藤明彦 公演時間 85 分		
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要 否	該当なし	該当コンテンツ名
	該当事項がある 場合	権利者名	許諾確認状況
演目概要	①「鳩のマジック」オープニングにふさわしい華やかなマジックです。次々と鳩が出現し観客の目をひきつけます。 ②「ジェネラルマジック」マジックの中でもポピュラーで指先の技術を主体とした本格的な演技の神髄を鑑賞してもらいます。 ③「おしゃべりマジック」観客と一体となった笑いを交えた明るく楽しい演目です。 ④「生徒代表による演技」ワークショップで習得したものや自分で考えたマジックを生徒代表が実演。 観るだけでなくマジシャンとして演じる喜び、友達のマジシャンを応援する嬉しさを体験してもらいます。 ⑤「和妻」日本古来の伝統奇術。日本でも古くからマジックが演じられ芸能として鑑賞されて現在でも娯楽として 立派に通用する優れた舞台芸術であることを知ってもらいます。 ⑥「イリュージョン」浮揚・出現・消失など、大掛かりな演目で公演のラストにふさわしいインパクトのあるマジック(大魔術)で感動を与えます。 ※上記6種類からなる演目の間にはそれぞれ司会者が入り、マジックの歴史、分類、各マジシャンのプロフィール等について解説いたします。		
演目選択理由	上記の1・2・3・5・6の演目は一般的に親しまれているマジック全般を大きくジャンル別に分類し、その中から抜粋した代表的な演目となります。 これらの演目は学校の体育館(施設内多目的ホール)という限られた空間を劇場にし、児童・生徒がマジックの持つ独自の「錯覚」「不思議」等を鑑賞・体験をし、 生の芸能、芸術に触れる喜びを味わうことを主目的としております。 同時にマジックを成立させるための道具(ネタ)・話術・構成・演出など、総合的な実演芸能の体験に繋がっているものです。 さらにワークショップを通して人を引きつける話術や芸の進め方、コミュニケーションのとしかたなどを体験、実践する事で単なるマジック鑑賞を超えた 教育の一環としての要素も取り入れたいと考えております。 ※クローズアップマジックやメンタルマジック等は鑑賞する人数に限られるため、当該公演の計画では演目に含んでおりません。		
児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態	◎上記の演目においてワークショップでの講習内容や生徒が考えたマジックを生徒代表に実演させる。その際、内容を確実に習得させ必ず成功して 拍手喝采となる様導きます。 ◎上記3の演目において出演者が積極的に児童と会話を交わすことにより、交流を深めます。(一定の距離をおいて行います) ◎各出演者共トークのある場面では積極的に児童と会話を深めます。(一定の距離をおいて行います) ◎司会者は一方的なトークに陥らず、生徒と対話しつつ公演を進行させていくようにする。(一定の距離をおいて行います) ◎生徒代表による演技以外に生徒全員参加型のプログラムを構成する事も可能です。(その場合事前に用意頂く用品が必要となる場合があります)		
出演者	◎「鳩のマジック」1~2名:横田菊枝・ドルフィン・魔ほうの愛華・キタノ大地 ◎「ジェネラル」1~2名:AKIRA・TAKAO・長谷和幸 ◎「おしゃべりマジック」1名:上口龍生・ジージョ星・ブラックサタン・ダーク広春 ◎「和妻」1~2名:幸条スガヤ・KYOKO・和田奈月 ◎「イリュージョン」2~3名:キタノ大地・ドルフィンマジックカンパニー・笑太夢マジック ◎「司会者」:小野加珠巴・横田菊枝・桂 米多朗 ※各ジャンルに公益社団法人日本奇術協会の正会員・準会員100名より抜粋されたスペシャリストが出演いたします。 [スタッフ]舞台監督:工藤弘幸・上田 実 助監督:高橋美祐・森 隆二 [音響照明]アートプレーンカンパニー2名 [協会スタッフ]5名 以上の出演者・スタッフは令和4年度の当該事業の参加リストです。令和5年度の選考につきましては令和5年3月より選考となります。		
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 む	出演者: 10 名 スタッフ: 9 名 合 計: 19 名	運搬	積載量: 1 t 車 長: 4×3台 4・7×1m 台 数: 4 台

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	有	前日仕込み所要時間		学校の要望により1日2回公演になる場合、前日仕込みあり約3時間	3時間程度
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	7時～7時30分	7時30～10時30分	13時～14時45分	5～15分	15時～16時45分	17時

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
					19日	
	11月	12月	1月	計	58日	
	14日	15日	10日			

※平日の実施可能日数目安をご記載ください。

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	6名～8名
		鑑賞人数目安	全校を対象としております。500名以上になると鑑賞位置によって集中力に温度差が出る場合があります。



公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出や
がわかる写真)

※採択決定後、採
択団体へ図面等詳
細の提出をお願い
します。

【公演団体名 公益社団法人 日本奇術協会】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	全校を対象としております。 500名以上になると鑑賞位置によって集中力に 温度差が出る場合があります。
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>オープニングに5～6分のマジックを披露します。</p> <p>(A)マジックの倫理編: 奇術の基本原則より、代表的な7種類のマジックの原理を実演を交えて解説します。</p> <p>①「指先を使ったマジック」=カード・四つ玉・等を使ったマジックの実演・解説。</p> <p>②「道具に仕掛けがある」=二本の筒・ロープ・等を使ったマジックの実演・解説。</p> <p>③「秘密のタネを使う」=ゾンビボール・サムチップ等を使ったマジックの実演。</p> <p>④「目の錯覚を利用する」=錯覚を利用した図形の道具を生徒と一緒に目の前で起こる現象を体験します</p> <p>⑤「理科の原理を利用する」=水ジュースに変える等、科学(化学)の原理を使ったマジックの実演。</p> <p>⑥「算数の原理を利用する」=数字を当てるマジック等、生徒と一緒に実演。</p> <p>⑦「相手の注意をそらす」=いかに観客の目をそらすかの演技(ミスディレクション)を解説と実演で鑑賞してもらいます。</p> <p>(B)マジックの歴史編: 最古のマジックから現代のマジックまで奇術の歴史を実演を交えて解説します。 ※以上のマジックは学校での勉強が原理に繋がっている事を感じてもらいます。</p> <p>(C)実技編: 教材を使いマジックを体験・習得してもらいます。</p>		
ワークショップの ねらい	<p>マジックの不思議さを楽しんでもらうには、実際にマジックを鑑賞する事が大切です。 生徒に配布した教材テキストには代表的なマジックの原理がいくつか表記されています。 原理や基礎知識を学び、自己表現力や演出・構成力・コミュニケーションを養ってもらう事を意図としております。</p> <p>また、マジックが上達する一番の秘訣は今、学校で学んでいる授業の科目をしっかり勉強する事が必要と感じてもらいます。そして、マジックワークショップの原理編では小学校で学ぶすべての科目と繋がっている事を再認識してもらおう。</p>		
その他ワークショップに 関する特記事項等	<p>令和元年度においては保健室登校の生徒がマジックに興味を持ち、ワークショップを通して他の生徒とコミュニケーションが取れる様になった事例があります。</p> <p>令和3年度ではコロナウイルスの影響で参加出来ない学年やクラスにはZOOM等を使いリモートで指導しました。</p> <p>学校の希望によりワークショップを学年ごとに分けて行う。</p>		